

## 4. おわりに

泉地区は、山や川に囲まれた自然豊かなところです。今回調査した田んぼや水路は、農家の人が毎年お米をつくることで、形づくられた自然です。短時間の調査でしたが、この人の手のはいった自然の中に、たくさんの生き物が、生息・生育していることがわかりました。また、生き物によって住んでいる場所が違うこともわかりました。よく観察し、自分で調べることによって、生き物への理解が深まったのではないのでしょうか。

今回の生き物教室をきっかけに、生き物や自然、地域の農業など、様々な地域の環境に関心をもってもらえることを期待します。



### 生き物教室を終えて

#### 日鷹先生

南予の生き物で、残念ながら、代表的な生き物が抜けてしまっています。秋に、田んぼや畑の芋の上に乗っていたり、木の上を飛んでいる真っ赤なアカトンボです。その原因は、今日みんなが調べた水質のバックテストでは分かりませんが、詳しく調べると田んぼの水に溶けている、苗箱にする薬の箱剤(ネオニコチノイド)がいけないのだと分かりました。今は、一番安全な農薬と言われていますが、農薬汚染として何種類かの生き物が死んでしまっています。今日、見つけた生き物は何か大丈夫なのかということ、農薬に強いという特徴があり、どの薬を使っても生き残ります。

これだけ生き残っているので、大丈夫だとは思わないで下さい。我々人間にとっても、すぐに危険という事はないのですが、子供たちは大人よりも免疫が弱いですし、これからの世代を担っていく存在で未来の宝です。ですから、農薬に触れないよう配慮して田んぼの学習を行って下さい。

#### 津村館長

今日の調査で一番嬉しかったのは、追い込み漁が初めて成功したことです。今まで色々な所で説明をするのですが、結局ばらばらになってしまって全然出来ないのですが、今日は先生がリーダーシップをとって頂いてうまくやってもらったので、魚が捕れて皆の嬉しそうな顔が見れて良かったです。今日、ウグイが捕れたのも、追い込み漁が成功したおかげだったと思っています。それと、愛媛県でも貴重な魚のアカザがいました。

ウグイとアカザは、広見川水系では、まだまだたくさん残っています。こんな魚の豊かな広見川を大切にしてもらいたと思います。

5. 生き物たち



トノサマガエル



ヌマガエル



アカザ



コツブゲンゴロウ

ヒメガムシ

コシマゲンゴロウ



ヨシノボリの仲間



オイカワかカワムツの稚魚



コイ



ナマズ



ミズカマキリ



オタマジャクシ



ホソミイトトンボ

ケラ



ケラ



ハラビロトンボ



ヤゴ (カトリヤンマ)



ナミアメンボ



ミミズ

エンマコオロギ

ミイデラゴミムシ

